

横浜市民防災センター 映画祭2017 上映会のお知らせ

防災・減災に関する映像作品の上映会を横浜市民防災センターで開催します。横浜市民防災センター映画祭 2017 第1回ショートムービーコンテスト授賞式において奨励賞を受賞した一般応募の4作品のほか、特別招待作品として5作品を上映します。

最大 45 人を収容できる『災害シアター』

 期 間 平成 29 年 3 月 18 日(土)～4 月 2 日(日)

 会 場 横浜市民防災センター
災害シアター及び訓練室
(横浜市神奈川区沢渡 4-7)

 入場料 無料

 上映作品について



第1回ショートムービーコンテスト 一般応募作品（4作品）

-  「命を守る為に、中学生ができること(自助・共助)」(制作：横浜市立中川西中学校)
-  「未来をひらく学校防災教育」
(制作：横浜市立長津田小学校、協力：横浜市立北綱島小学校、横浜市立太尾小学校)
-  「こんな時 どうしたらいいの？」(制作：瀬谷区知的障害理解啓発グループ アントママ)
-  「知っておこう一人にならないために」(制作：内田結衣)

特別招待作品（5作品）※ 詳細は裏面参照

-  「未来のカケラ」(制作：内閣府)
-  「逃げ遅れる人々」(制作：東北関東地震障害者救援本部、監督：飯田基晴)
-  熊本地震ドキュメントムービー「負けんばい菊池 負けんばい熊本」(制作：熊本県菊池市)
-  アニメ「未来に向けて 防災を考える」(制作：(社)東北地域づくり協会)
-  「みらいへの手紙～この道の途中から～」(制作：福島県)

上映スケジュールについて

 別添資料(チラシ)又は横浜市民防災センターホームページをご覧ください。

URL: <http://bo-sai.city.yokohama.lg.jp/>

裏面あり



取材について

取材していただける場合は、下記問い合わせ先にご連絡の上、会場受付までお越しください。



上映作品紹介

一般応募作品	「命を守る為に、中学生ができること(自助・共助)」 (制作：横浜市立中川西中学校) (10 分) 中学校保健委員会が、大地震に備えて中学生ができる自助・共助についてまとめたVTR。
	「未来をひらく学校防災教育」 (制作：横浜市立長津田小学校、協力：横浜市立北綱島小学校、横浜市立太尾小学校) (11 分) 学校の防災力向上、災害リスクへ対応した防災体制、学校・地域・保護者の連携を推進し、「未来をひらく防災教育」への取り組み。
	「こんな時 どうしたらいいの？」 (制作：瀬谷区知的障害理解啓発グループ アントママ) (15 分) 大震災発生時の数日後、多くの被災者が集まる地域防災拠点の中学校体育館に避難してきた自閉症がある息子とその母親。自閉症の独特な感覚過敏や障害特性により、集団生活の中で徐々に支障が出てくるが、地域の人と一緒に試行錯誤しながらも共存していく方法を考えていく。
	「知っておこう一人にならないために」 (制作：内田結衣) (60 秒) 被害を最小限にするために、平常時には災害に備え、災害時には自ら身の安全を守るよう行動することが大切だと伝える。 ※ショートムービーコンテストCM部門ノミネート作品
特別招待作品	「未来のカケラ」 (制作：内閣府) (15 分) 内閣府が行うプロジェクト「未来ヘススモーション」において、「わたしたちのふるさと、10 年先の物語」をテーマに募集した作文を原作として映画化された作品。
	「逃げ遅れる人々」 (制作：東北関東大震災障害者救援本部、監督：飯田基晴氏) (74 分) 障害があるということは、災害時には普段以上のハンディとなる。東日本大震災、未曾有の大震災の中、障害を持つ人々に何がおきたのか？ 福島を中心に、被災した障害者とそこに関わる人々の証言をまとめたドキュメンタリー。
	アニメ「未来に向けて 防災を考える」 (制作：(社)東北地域づくり協会) (60 分) 「備える」編と「学ぶ」編で構成されている作品。「備える」編は、普代村で多くの命を救った東北で最も高い 15.5 メートルの水門と防潮堤が題材。「学ぶ」編は、防災教育を積み重ねた釜石市の小中学生のほとんどが、津波から逃げて無事だった事例を紹介。気付いた人からそれぞれ率先して高台避難する「津波てんでんこ」の教えが、子から親へ逆に伝わる様子を描く。
	熊本地震ドキュメントムービー「負けんばい菊池 負けんばい熊本」 (制作：熊本県菊池市) (10 分) 熊本地震発生から、自助・共助・公助を通じて復興に向かうまでの歩みをまとめたドキュメンタリー。
	「みらいへの手紙～この道の途中から～」 (制作：福島県) (25 分) 震災後に福島で起きた出来事や県民の様々な思いなどを国内外の多くの方々に伝えるため、実話を基にした短編アニメーション動画。

お問合せ先

消防局横浜市民防災センター 所長 宮川 淳一 Tel 045-312-0119

横浜市民防災センター映画祭2017 上映会

平成 29 年 3 月 18 日 (土)

～ 4 月 2 日 (日)



映画を通じて防災・減災について
考えてみませんか？

2月26日(日)に行われた
ショートムービーコンテストのノミネー
ト作品も上映します！！

場所：横浜市民防災センター

(横浜市神奈川区沢渡4-7)
横浜駅から徒歩 10 分

上映予定作品

※上映スケジュールは
裏面をご覧ください

A

第1回ショートムービーコンテスト応募作品

命を守る為に中学生が出来ること(自助・共助)(制作：横浜市立中川西中学校)

こんなときどうしたらいいの？(制作：瀬谷区知的障害理解啓発グループ ant mama)

未来をひらく学校防災教育(制作：横浜市立長津田小学校)

知っておこう一人にならないために(制作：内田結衣 他4名)※CM部門応募作品

B

「逃げ遅れる人々」(74分)

製作：東北関東大震災障害者救援本部
監督：飯田基晴氏

東日本大震災被災地の障害者を取り巻く
さまざまな課題や問題点を描いたドキュ
メンタリー。

C

「みらいへの手紙 ～この道の途中から～」(約26分)

制作：福島県
震災後に福島で起きた出来事や県民の
様々な思いなど、実話を基にした短編アニ
メーション。

D

アニメ「未来に向けて 防災を考える」

製作：(社)東北地域づくり協会(60分)
「備える」編は東北で最も高い水門と
防潮堤が題材。「学ぶ」編は、釜石市の
津波避難の例を描く。

E

ドキュメントムービー

「負けんばい菊池 負けんばい熊本」(10分)

制作：菊池市
熊本地震発生から、自助・共助・公助を通じて復興
に向かうまでの歩みをまとめたドキュメンタリー。

F

「未来のカケラ」(15分40秒)

製作：内閣府

内閣府のプロジェクトにおいて、「わたしたちのふるさと、
10年先の物語」をテーマに募集した作文を原作とした作品。

問い合わせ先：横浜市消防局 横浜市民防災センター映画祭 2017 事務局

TEL：045-312-0119 FAX：045-312-0386

上映スケジュール

【平日】 月 火 水 木 金 土 日

3月22日（水）～3月31日（金） 場所：訓練室（① 2F ② 3F ③ 4F）	
時間	上映作品
① 9:30～17:00（開館中常時）	A
② 12:05～13:20	B または D
③ 16:05～16:35	C または EF

【土日】 月 火 水 木 金 土 日

3月18日（土）（場所：災害シアター）	
時間	上映作品
① 10:35～10:45	E
② 12:05～13:20	B
③ 16:05～16:21	F

3月19日（日）（場所：訓練室）	
時間	上映作品
① 13:50～15:04	D
※ 12:30～13:30 横浜市消防音楽隊 防災ふれあいコンサート開催	

3月20日（月・祝）（場所：訓練室）	
時間	上映作品
① 10:30～11:10	A
② 12:00～13:14	B
③ 14:30～14:56	C
④ 16:00～16:26	EF

3月25日（土）（場所：訓練室）	
時間	上映作品
① 10:30～10:46	F
② 12:00～13:15	D
③ 14:30～14:40	E
④ 16:00～16:26	C

3月26日（日）（場所：訓練室）	
時間	上映作品
① 14:30～14:46	F
② 16:00～16:26	C

4月1日（土）（場所：訓練室）	
時間	上映作品
① 10:30～11:10	A
② 12:00～13:14	B
③ 14:30～14:56	C
④ 16:00～16:26	EF

4月2日（場所：訓練室）	
時間	上映作品
① 10:30～10:56	C
② 12:00～13:00	D
③ 14:35～15:01	EF
④ 16:00～16:40	A

上映予定は、施設の予約状況により変更することがあります。

最新の上映予定は横浜市民防災センターHPでも公開しています。

<http://bo-sai.city.yokohama.lg.jp/>